

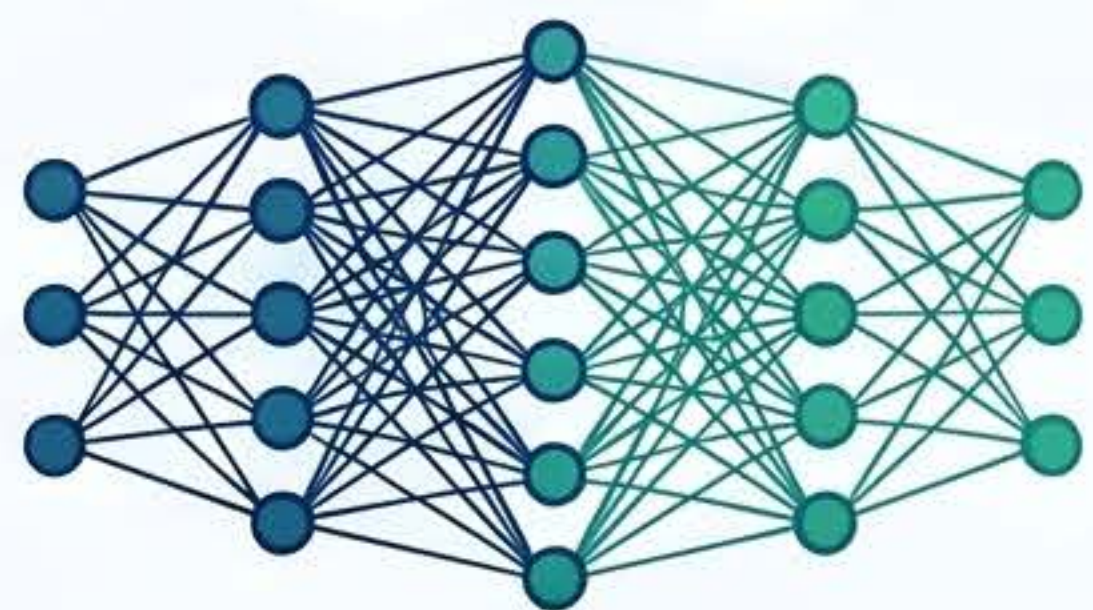
独 sovereign LLM 「Kolibri」の全貌と日本市場への影響

ドイツ統一の日に発表された「Kolibri」は、規制産業・行政向けの高度な説明責任とEU AI Act対応を備えた sovereign MoE LLMです。日本語未対応のため国内での直接利用は限定的ですが、国産LLMの設計方針やガバメントAI「源内」の調達基準に大きな示唆を与えます。

「Kolibri」の技術的特長と戦略的背景



78.1B (アクティブ3.46B)
のMoE構造



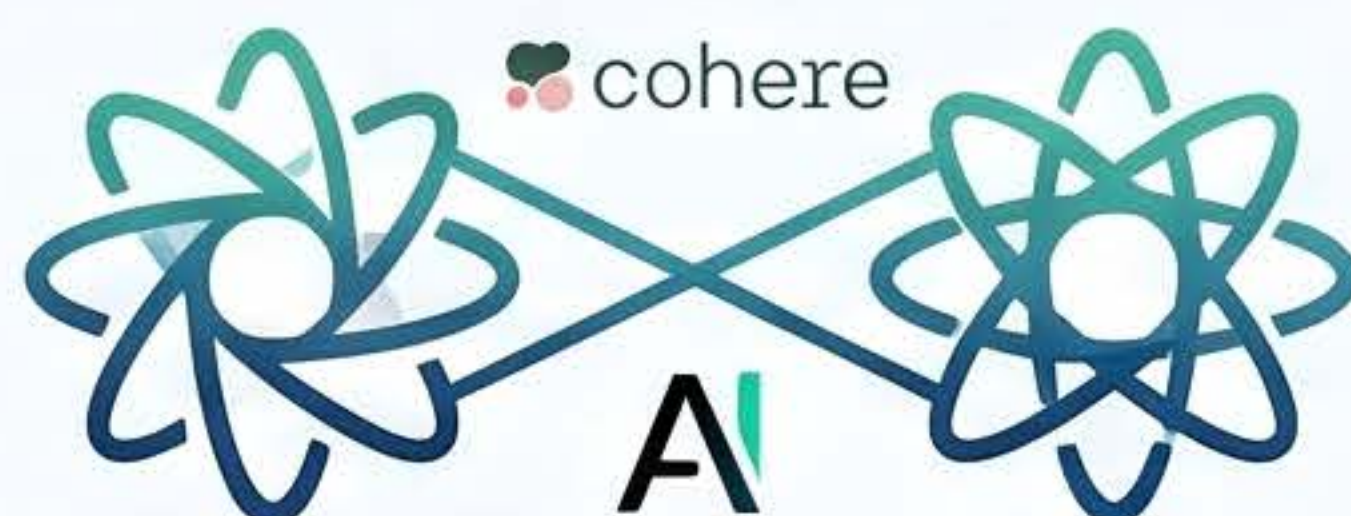
行政・産業・航空宇宙などのミッション
クリティカルな推論用途に特化。

EU AI Act対応と
徹底した説明責任



学習データの要約公開や
ハルシネーション抑制
(回答控え率44%) を実装。

Cohere (カナダ) と
の事業統合



大西洋を跨ぐソブリンAI体制を
構築し、Apache 2.0で重みを公開。

日本市場および国産LLMへの示唆・影響

日本語非対応で
直接の影響は限定的



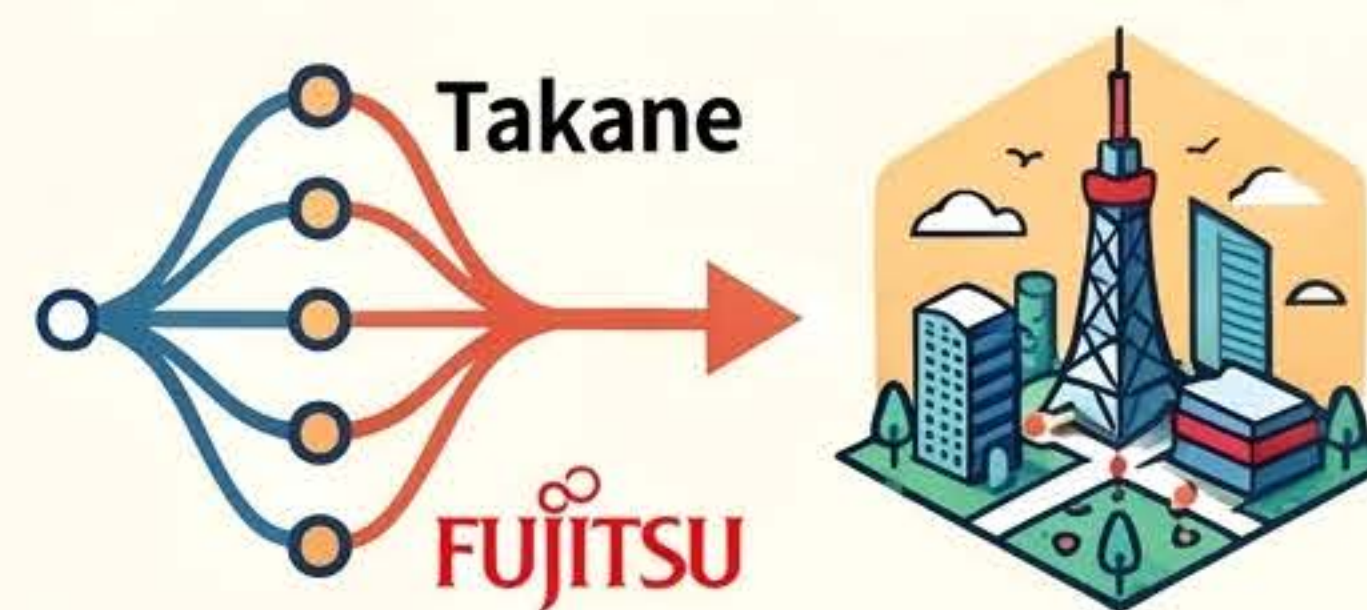
独・英専用のため、
日系企業の欧州拠点での
オンプレミス活用が中心。

ガバメントAI「源内」
への開示手本



自国語データの補正手法や
規制対応の透明化技術が
日本の調達基準の参考に。

Cohere・富士通
「Takane」経由の波及



Domestic
LLM

統合後の技術統合により、将来的に
国内基盤モデルへ開接影響する可能性。